

機構総会
臨時
万防臨

高齢者、防犯画像、集団窃盗で緊急提言 今後具体化に向け議論

NPO法人全国万引犯
罪防止機構（万防機構）
は1月20日、東京・千代
田区の主婦会館で臨時総
会を開催し、喫緊の課題
である高齢者万引対策、
防犯画像の取扱い、集団
窃盗の情報の取扱いに関

する提言案を決議した。
今後具体化に向けて議論
をしていく。
臨時総会には過半数を
上回る会員47人、委任状
13人の計60人が出席。昨
年5月に高齢者万引対
策、防犯画像の取扱い、

集団窃盗の情報の取扱い
についてそれぞれ小委員
会を設置し、各小委員会
が5回にわたって審議、
提言をとりまとめた。

竹花豊副理事長（東京
ビッグサイト社長）は
「万引犯罪は、全体の犯
罪の中で1割を占めるよ
うになった。当機構は今
年10年目を迎え、昨年来、
最近の万引問題の変化に

対して喫緊の課題にチャ
レンジしている。高齢者
万引対策、防犯画像の取
扱い、集団窃盗の情報の
取扱いにどう対処したら
いいのか、タブーを打ち
破って関係委員会で検討
してきた。今後どう具体
化していくのかを議論し
ていく」とあいさつし、
各号議案を審議、いずれ
も承認された。

高齢者万引対策は、65
歳以上の高齢者による犯
罪が全体の3割を超え、
青少年を上回っているこ
とから来店退店時のあい
さつの励行と、会話が
あ
る明るい店作りなどを提
言。

集団窃盗の情報の取扱
いは、個人的から組織的
・計画的な犯行に対する
抜本的な対策を要する段
階に移行しているとし、
小売業では防犯カメラ・
ミラー、万引防止機器設
置のハード対策や声か

努めるとし、小売店で防
犯カメラの運用規則がな
い店舗には速やかに作成
することなどを提言。

防犯画像の取扱いは、
防犯カメラに録画された
犯人画像を、人権侵害で
ない限り積極的な活用に

防犯画像の取扱いは、
防犯カメラに録画された
犯人画像を、人権侵害で
ない限り積極的な活用に

け、マニュアル制定、防
犯訓練の実施などのソニ
ト対策で被害に遭いに
い店舗を整備すること
などを提言している。

前年同月比
3・3%減
出版科 研
11月書・雑販売額
出版科学研究所によ